

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 外国語 科目 論理表現Ⅱ

教科：外国語 科目：論理表現Ⅱ 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 1組～5組
 教科担当者：（横堀 貴大）（千葉 裕太郎）（河野 真木子）
 使用教科書：（三省堂 MY WAY Logic and Expression I & II）

教科 外国語 の目標：
 【知識及び技能】 言語や文化に対する理解を深めるための知識や言語能力を養う。
 【思考力、判断力、表現力等】 言語や文化に対する知識や言語能力をもとに論理的な思考力や表現方法を身につける。
 【学びに向かう力、人間性等】 言語や文化に対する知識を用いて、積極的にコミュニケーションを図る態度を培う。

科目 論理表現Ⅱ	の目標：
【知識及び技能】	知識及び技能を活性化して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組みの中で、自らの学習を調整しようとしている。
【学びに向かう力、人間性等】	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
1 学 期	A 単元：科学技術について話す 【知識及び技能】比較表現を適切に用いることができる。 【思考力、判断力、表現力等】事柄や話題について、内容を整理し、上記の時制を用いて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】積極的に自己紹介やペアワークに取り組む。	・指導事項：比較表現 ・教材：教科書、ドリルノート、授業プリント等。 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【文法】・比較表現について学んで理解する。比較表現を用いて文を作る。 【言語の機能】・「相手の意見を受け入れから、主張する」「問をつなぐ」「理由を述べる」「列挙する」表現を含む対話を理解し、展開する。	○	○	○	11
	定期考査										○	○
1 学 期	B 単元：病院について話す 【知識及び技能】関係詞を適切に用いることができる。 【思考力、判断力、表現力等】事柄や話題について、内容を整理し、上記の時制を用いて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】ペアになって紙の本と電子書籍の良さについて話すことができる。	・指導事項 ・教材：教科書、ドリルノート、授業プリント等。 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【文法】・関係詞について学んで理解する。関係詞を用いて文を作る。 【言語の機能】・「申し出る」「列挙する」表現を含む対話を理解し、展開する。	○	○	○	13
	定期考査										○	○
2 学 期	C 単元：SDGsと被褥のことを話す 【知識及び技能】仮定法、現在完了形、過去完了形を適切に用いることができる。 【思考力、判断力、表現力等】事柄や話題について、内容を整理し、上記の文法を用いて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】ペアになって病院で会話話すことができる。	・指導事項 ・教材：教科書、ドリルノート、授業プリント等。 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【文法】・仮定法、現在完了形、過去完了形について学んで理解する。仮定法、現在完了形、過去完了形を用いて文を作る。 【言語の機能】・「意見を言う」「話題を示す」表現を含む対話を理解し、展開する。	○	○	○	13
	定期考査										○	○
2 学 期	D 単元：歌舞伎の世界、AIについて話す 【知識及び技能】不定詞・知覚動詞・使役動詞を適切に用いることができる。 【思考力、判断力、表現力等】事柄や話題について、内容を整理し、上記の文法を用いて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】ペアになって日本文化・色々な科学技術についてやりとり出来る。	・指導事項 ・教材：教科書、ドリルノート、授業プリント等。 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【文法】・不定詞・知覚動詞・使役動詞について学んで理解する。不定詞・知覚動詞・使役動詞を用いて文を作る。 【言語の機能】・「あいづちを打つ」「賛成する」「譲歩する」「意見を言う」「結論を述べる」表現を含む対話を理解し、展開する。	○	○	○	13
	定期考査										○	○
3 学 期	E 単元：世界の言葉・やさしさについて話す 【知識及び技能】仮定法・否定・代名詞を適切に用いることができる。 【思考力、判断力、表現力等】事柄や話題について、内容を整理し、上記の文法を用いて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】ペアになって旅行に行くこと・悩み事を伝えることについてやりとり出来る。	・指導事項 ・教材：教科書、ドリルノート、授業プリント等。 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【文法】・仮定法・否定・代名詞について学んで理解する。仮定法・否定・代名詞を用いて文を作る。「驚く」「マをつなぐ」「意見を言う」「結論を述べる」「列挙する」表現を含む対話を理解し、展開する。	○	○	○	15
	定期考査										○	○
								合計			70	